



ある日の国語科 (テストのヒント付き?)

<ある日の国語科 その1>

■■■ T: 現文の3番の問題できたんだけど、ちょっと書かせるのが多すぎ?

保戸塚: どれどれ。

■■■ T: 抜き出しもあるんだけど、問●と問●●は結構書くからね。

保戸塚: う～ん、これくらいいいんじゃないですかねえ? 「サイボーグ」はちょっとしかやってないから、どうせ難しい問題作れないし、評論選はちょっと難しいくらいいいですよ。

■■■ T: じゃ、これで行こう。で、漢字はこれでいいかな?

保戸塚: ■■■ T、今回の漢字の係は僕ですよ。

■■■ T: あれ、そうだったっけ? 作っちゃったよ～ (泣)

保戸塚: せっかく作って下さったなら、それを使いましょう。あれ、でも、これ、試験範囲と違いますか?

■■■ T: え、そうなの?

保戸塚: おかしいな～、「●●●」なんて漢字、今回の範囲に入ってませんよ。

■■■ T: ええっ、だって●ページから●ページでしょ?

保戸塚: そうです、ページはあってますね。あっ、■■■ T、去年の問題集使ってません?

■■■ T: 今年の問題集使ってどれ?

保戸塚: これですよ、コレ!

■■■ T: ヤバイ、去年の見ちゃった…

保戸塚: あ～、気づいてよかったあ…

* ということで、■■■ Tはかなり危険な人物

らしい (笑)。3年生の漢字も間違っ作っていた模様、しかも印刷し直し… (爆)。

<ある日の国語科 その2>

▲▲ T: 暗誦プリントの範囲の問題、訓点どうします? つけてやりますか?

保戸塚: ダメダメ。最初だから厳しめにしとかなないと。

▲▲ T: やっぱりそうですよね。授業でやってないから、ちょっと可哀想かなと思ったんですけど、やっぱり最初から鍛えた方がいいですよ。

保戸塚: そうそう。それに訓点つけると、ワープロで問題作る時、面倒くさいよ。

▲▲ T: そっちですか (笑)。

* ということで、保戸塚 Tは面倒くさがりらしい。しかし、それが生徒の実力向上に役立っているとの噂もごく一部にある…?

<ある日の国語科 その3>

◆◆ T: 保戸塚先生、古文のこの問題、動詞って「●●」でもいいんですか?

保戸塚: えっ、あっ、ヤバイ。ここ、動詞が二つもあったんだ～ (泣)。「××」を答えさせたくて、つい見落としちゃったよ。じゃあ、問題変えなきゃね。

◆◆ T: ついでに、合計点が103点…。

保戸塚: えっえっえっ! あ～計算間違えた～。どっか配点変えなきゃ (泣)。

* ということで、◆◆ Tがいるおかげで国語科の考查問題は何とか成立しているらしい。2年生の問題も合計が100点越え… (笑)。大丈夫か? (「か」=反語?)